

「不育症」治療の支援を

質問者 下 野 義 子

妊娠しても、流産、死産や新生児死亡を繰り返して子どもを得られないことを不育症という。その原因（リスク要因）が明確でない場合もあるが、検査により要因を発見し治療することで、子どもを得られる可能性が高まる。しかし、検査や治療には保険適用されていないものもあり、その費用は高額に上る。妊婦が安心して相談や治療ができるよう、相談体制の確立や治療費の公費助成を行い、大切な命を守るべきである。町長の所見を伺う。